

坂本 真弓さん (広島県広島市西区出身)  
2016 年度 2 次隊 青年海外協力隊  
派遣国：スリランカ 職種：環境教育  
2017 年 7 月 23 日 (日) 中国新聞 SELECT 掲載



※中国新聞社の許諾を得ています

## 環境教育で美化に貢献

スリランカで4月に起きた、コロンボ最終処分場のごみ山崩落事故は記憶に新しい。多くの途上国と同じく、この国もごみの焼却炉がなく、埋め立て処分をする。ここで私は幼稚園や小学校を巡回して3R(ごみを減らす、再利用、リサイクル)や、分別指導など環境教育活動をしている。



3Rについての授業。子どもたちは熱心に聞いてくれる

スリランカは縁のある国だ。1994 年の広島アジア大会で、広島市西区の己斐地区はスリランカの応援区だった。その時、一人の選手が当時 9 歳だった私の手のひらに小さな象の形のお守りを乗せてくれた。その後も、ずっと大切にしていた。まさか 20 年後にその国に暮らすことになるとは思ってもいなかった。

現地には冷蔵庫も洗濯機もなく、断水、停電が頻発するため、柔軟性が培われる。仕事に対する姿勢も異なり、ドタキャンや交通機関の遅延など日本での常識は通用しない。臨機応変さとタフネスさが身につく。人々との交わりの中で、言葉の裏にある文化や習慣を読み解くことが、現地社会への理解、信頼関係の構築につながることを知った。

私はもともと医療業務のシステム開発の会社に勤めており、企業が人材育成目的で青年海外協力隊員とする民間連携ボランティア制度を利用して派遣された。この経験で、社会は変えられなくても人々の行動は変えられること、可能性を信じる大切さを学べたことは大きな財産だ。スリランカが環境に配慮した美しい国として発展するよう、残り任期を全うしたい。